

今週のメニュー

■トピックス

◇「これからの住宅シリーズ」No. 2を樹脂窓ホームページ掲載

■随想

◇ベナン共和国旅行記（1）ーベナン共和国ってどんな国ー

一般社団法人 日本化学工業協会 若林 康夫

■編集後記

■トピックス

◇「これからの住宅シリーズ」No. 2を樹脂窓ホームページ掲載

先週号で紹介しました、「[幸せな生活を送るための住まい造り](#)」に続き、第2回の「[家族の健康を守る、住まいの秘訣](#)」を北海道大学 羽山広文教授に監修していただき、掲載いたします。羽山先生は、NTTファシリティーズ等を経て北海道大学大学院の空間性能講座・建築環境学研究室で、建築環境設備と健康の関係について研究をされています。

先生に初めてお会いしたとき、この研究を始めた理由を次のように話してくださいました。

「北大を卒業後18年ぶりに札幌で目にしたのは、劣悪な温熱環境の公務員宿舎でした。室内は結露、カビの嵐、開口部から入り込む隙間風、子供は涙ながらに東京に帰りたいと……。暫くすると、冬に札幌在住の義父が脳血管疾患を発症、1年間の闘病生活後亡くなりました。実家にいってみてその居室以外の寒さにびっくりしました。自分が住宅の温熱環境を指導する立場であるのに、家族すらも守ることが出来ない苛立ちから、その活動の推進に奮闘しています。従来は、住環境の改善と省エネでしたが、今後は住環境の改善と健康・安全になるはずです。」



家族の健康を守る、
住まいの秘訣 HP（予定）



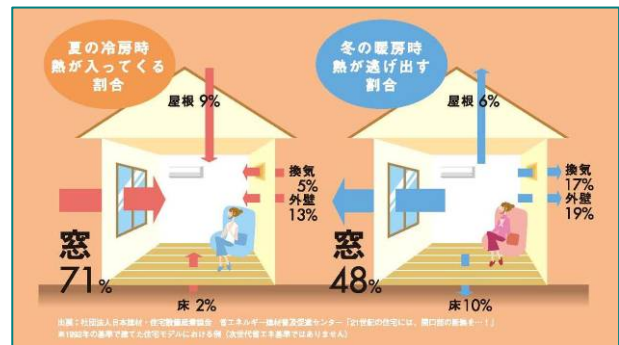
今回は、4部編成としてお風呂に入るリスクを示しながらリフォームの必要性をイラストやグラフを交えて先生に説明いただきました。

- 秘訣その1 まずは寝たきり・介護について知るべし！
- 秘訣その2 季節と健康の関係を知るべし！
- 秘訣その3 住まいと健康の関係を知るべし！
- 秘訣その4 簡単にできる住まいの事例を伝授

これから、2世代住宅を建てよう、リフォームしようと考えている方、先ずはこのひろふみ先生のお話をお読みいただき、お風呂での冬の事故を出来るかぎり予防してみませんか。

樹脂外窓・樹脂内窓は、熱伝導率の低さから断熱性や気密性にすぐれ、外気を遮断し、室内温度が外に逃げにくい特徴があります。今、スマートハウス等で良い設備機器などが出てきていますが、住宅の外皮の断熱をしっかりとしないにぎるに水をそそぐようになってしまいます。熱の出入りは窓からが一番大きいので、省エネや室内環境改善には良い窓を入れることが最も効果的です。

設備機器は10年もすると寿命が来ますが、樹脂窓は30年以上寿命があります。それを考えると初期コストも設備機器より安く、ランニングコストも安く済み経済的なのは樹脂窓なのです。



窓からの熱の出入り (⇒ 詳細)



樹脂窓 (外窓)
白い窓枠で室内が明るく

■ 随想

◇ベナン共和国旅行記 (1) -ベナン共和国ってどんな国-

一般社団法人 日本化学工業協会 若林 康夫

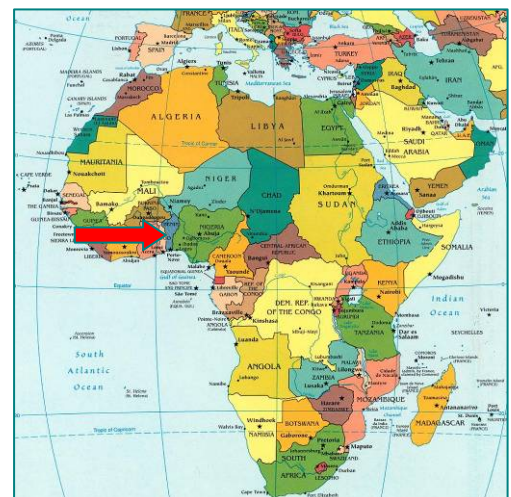
ブルキナファソから「世界の翼、ブルキナファソの翼、Air Burkina」に乗って、「ベナン共和国 (Republic of Benin)」に移動してきました。

アフリカの航空会社なので整備状況や定時運行は大丈夫なのかな? とちょっと不安でしたが、オンタイムの離発着、1時間半のフライトでしたが、国際線ということもあり、機内食付という、きっちりとしたフライトでした。

乗務員はパイロットをはじめ、全員がアフリカの方でした。以前は、パイロットは白人というのがこの地域のお決まりでしたが、最近では教育水準の向上もあり様変わりしてきています。

ブルキナファソとベナン、隣同士の国ですが、来てみるとかなり雰囲気は異なります。

アフリカの国境線は、旧宗主国が民族 (部族) のテリトリーに沿って引いたものが多いため、当然といえば当然かもしれません。



クリックで拡大

ブルキナファソの首都 Ouagadougou (結局、地元の人にちゃんと発音できるようになったねと言われないうままブルキナファソを出国してしまいました (^_^;)) とベナンの街コトヌー (Cotonou) とは直線距離で約 600Km しか離れていませんが、人々の顔、話す言葉は全く違います。

ベナンは海に面しているため、特にコトヌーは西アフリカでも有数の港湾都市になっています。このため、多くの部族が交易のために集まってきたという歴史があり、民族色豊かです。港では、アジアやヨーロッパからのコンテナ船が次々と入港し、コンテナの積み下ろしをしています。街の市場も国際色豊か。食品を除き、ベナン製の製品を探しても見当たりません。

貿易は盛んですが、利益の大半は実際に交易を行っている外国資本のもので、ベナン国内にほとんど利益はもたらされていないのが実情です。このため、ブルキナファソと同様、経済的には決して豊かではなく、国連が発表している後発開発途上国（最貧国、Least Developed Countries）のリストでも、IMF が世界 183 カ国の所得水準、経済発展度を人口 1 人当たりの GDP ベースで発表しているリストでも、下から数えて 1 桁台に位置しています。

そういう意味では、「働かざる者、食うべからず」ではありませんが、小学校に入る前の子供から大人まで、みんな必死に働いています。

以前、日本のボランティア団体がベナンの田舎に小学校を建設しようとしたそうですが、地元の人から「小学校ができると子どもたちが通うようになる。そうすると労働力が減ってしまうので困る」と抗議を受けたという話もあります。

古くからの港湾都市なので、この地域では避けることができない奴隷貿易の基地でもありました。17 世紀以降、多くの人々が奴隷としてヨーロッパ、アメリカに売られていきました。様々な部族闘争の後、フランスの植民地となり、1960 年ダホメー共和国として独立。1975 年ベナン共和国に改名しました。

ちなみに、首都はポルトノボ（Porto-Novo）ですが、実際の首都機能はベナン最大の都市であるコトヌー（Cotonou）が担っています。コトヌーとは、フォン族の言葉で「死の川の河口」という意味で、奴隷貿易を行っていたアボメー王国の歴史が由来とされている説があるそうです。

統計を見ると

面積 : 112,622 Km²（日本の面積は 377,915 Km²）

人口 : 9,598,787 人（2012 年 2 月現在）

人口増加率 : 2.877%（2012 年推計）

出生率 : 1,000 人に対し 37.55 人（2012 年推計）

平均寿命 : 男女計 60.26 歳（2012 年推計）

となっています。

宗教はちょっと調査が古く 2002 年の統計によると

カソリック教徒 : 27.1%

イスラム教徒 : 24.4%

ブドゥー教徒 : 17.3%

プロテスタント教徒 : 10.4%

その他クリスチャン教徒 : 5.3%

その他 : 15.5%

となっており、この地域にしてはイスラム教徒が少ないことが分かります。

特筆するのはブドゥー教徒。ブドゥー教はカリブ海沿岸やアメリカのニューオーリンズの宗教だと思われがちですが、本家本元はこちら、ベナンです。カリブ海沿岸やアメリカは、ベナンから送られた奴隷たちがもたらしたものです。

人種はこれも 2002 年の調査になりますが、

フォン族	: 39.2%
アジャ族	: 15.2%
ヨルバ族	: 12.3%
バリバ族	: 9.2%
プエル族	: 7.0%
オッタマリ族	: 6.1%
ヨアロクパ族	: 4.0%
デンディ族	: 2.5%
その他	: 1.6%
不明	: 2.9%

と非常に多彩な構成となっています。

公用語はフランス語で、多民族ということもあり共通語としてフランス語力が定着しています。教育は小・中・高校：6年・4年・3年のフランス方式で、小学校と中学校は義務化されていますが、学校のない地域、貧しい家庭も多く、実際の就学率は高くありません。

多民族の国、ベナン、何があることやら。

(つづく)

次回は、(2) マルシェ (市場) です。

⇒ [バックナンバー](#)

■ 編集後記

4月1日から新入社員とおぼしき4、5人の若い集団を通勤車内で見かけるようになりました。彼らはお互いに話ししながら、それぞれの手を持っているスマホのチェックは怠りません。ところで、子供の頃のSFアニメの道具が結構現実になっていますが、「スーパージェッター」の『流星号』はまだまだなァと思っていたら、テレビでゴルフ場をホバークラフトが池も坂も平気で走っているのを見かけました。カート替りとは思いますが仔細は判りません。『流星号』のハシリかと思ってしまいました。ただ、きっと下側の材料はターポリンだろうと考えてしまうのは、現職場で1年たったからですかネ。(鈴蘭)

■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)、[メールマガジン解除](#)



◆編集責任者 事務局長 東 幸次

■東京都中央区新川 1-4-1

■TEL 03-3297-5601 ■FAX 03-3297-5783

■URL <http://www.vec.gr.jp> ■E-MAIL info@vec.gr.jp